

設立趣旨書

1 設立趣旨

少子高齢化が進展する中、我が国においては、いまだ経験のしたことのない困難な課題が目前に山積しています。日本は、少子高齢化と人口減少というかつて経験したことのない状況下であり、自然災害、環境保全、防災防犯、子供の貧困、雇用減少、子育て、社会福祉など地域における環境・経済・社会の課題は、複雑かつ多様化しています。

つまり、現代の社会経済環境は複雑性を増し、予測不能なVUCA時代に突入しています。VUCAはVolatility（変動性）Uncertainty（不確実性）Complexity（複雑性）Ambiguity（曖昧性）の頭文字をとった単語であり、「あらゆるものを取り巻く環境が複雑性を増し、将来の予測が困難な状態」を指す言葉です。

このようなVUCA時代を生き残る地域には、主体的に学び行動することができる人材の育成が求められています。社会の課題を発見し、理想の社会を考え、自分の意見を発表し行動することによって実践的に学びを重ねるごとに楽しくなってきます。

このような学びによって得ることのできる課題発見能力、問題解決能力、コミュニケーション能力等は、社会で活躍する様々な場面において役立つこととなります。そんな人には、自分自身を変化させながら、地域の変革を推進する力もついてきます。

我々は、これまで4年ほど定期的に開催している朝カフェ会における地域やまちづくりをテーマにした地域住民同士の対話の促進、平成29年度から平成30年度までの養老鉄道池野駅駅舎のまちづくり工房霞溪舎の運営を通じた池田町の魅力を引き出す各種イベントの開催や支援を行ってきました。

特に、池田町の若者を中心とするメンバーによる「わかも会」のまちづくりや地域活性化に関する活動を支援し、池田町の地方創生プロジェクト推進助成金により、「池田町の魅力を発信できる和菓子を作りたい」と和菓子処「伊吹堂」さんに提案し、「ときめぐり」という羊羹を協働開発しました。

ときめぐりは、なんども商品のコンセプトについて対話を重ね、個々の商品名や包装のデザインなど、試行錯誤を繰り返し出来上がったお菓子です。「わかも会」のこのような活動を通じて得た経験や多くの人とのつながりはかけがいのないものになっており、今後も地域にこんなものがあつたらいいなというアイデアがどんどん広がっています。

このように、今後の活動の活性化に伴い、社会的信用の向上、各種契約等の法律行為の主体、助成金などの資金調達の手段の拡大等を図るため、法人格が必要となりました。

ここに、地域住民に対して、複雑かつ多様化していく地域社会の課題に柔軟に対応するための対話・協働・変革等を支援する事業を行い、地域住民自らが考え、地域社会づくりに積極的に参画し、地域の環境・経済・社会が調和した持続的成長を促進し、もって個性豊かで魅力あるまちづくり、ひとづくり及びことづくりに寄与することを目的として、「特定非営利活動法人まち・ひと・ことづくり工房ひなぞら」を設立します。「ひなぞら」には、わかもの（ひな）がこれから、太陽の光あふれる明るい陽（ひ）の中で、大空（そら）を自由に飛び回るイメー

かけがえ

ジをこめています。

今日、若者をはじめ地域住民が地域社会に積極的に関わる機会は限られています。そこで、我々が実施する各種事業は、若者をはじめとした地域住民が「自分たちでやる」にこだわります。

地域住民自らが地域社会に関心を持ち、自分たちならこうしたい、これをやってみたいという気持ちを形にする中で、さらに地元への関心を高め、積極的にかかわっていくことをねらいとします。

ここで、我々が大切にしたいのは、「成果でも結果でもなく、試行錯誤するプロセス」です。これをサポートする側である我々が繰り返し共有することで、正解のない社会の中でどのように試行錯誤しながら、個性豊かで魅力あるまちづくり、ひとづくり及びことづくりを経験してもらいたいと考えています。

そうして、以下のように、地域の環境・経済・社会が調和した持続的成長を促進し、もって個性豊かで魅力あるまちづくり、ひとづくり及びことづくりを目指します。

① 地域資源の利活用による地域の環境的持続性の確保

- ・ 地域社会の課題を発見し、解決策を考え、提案・行動し、学ぶほどに楽しくなるようにする。
- ・ 豊かな未来を創るために、複雑かつ多様化していく地域社会の中で自分自身との関係を意識し、多様な人々とのコミュニケーションを重ねながら、「共生」の道を一步ずつ踏み出すサポートをする。

② 協働による実践を通じた経済的持続性の確保

- ・ 目的の共有と短期的・中長期的目標の見える化を加速させる。
- ・ 誰もがリーダーを経験することにより、リーダーシップとチームワークの経験の場を創出する。
- ・ 自分の言葉で考え、自分の言葉で表現しながら目的を果たしていく中で、仲間や活動に関わる人々とのつながりを深めながら、自然に「リーダー」としての力を発揮して活躍することができるようになる。
- ・ 実践的な体験から豊かに学習にすると同時に、地域に貢献することの意義を学ぶ

③ 自立した地域人材の育成を通じた社会的持続性の確保

- ・ 自己実現の過程において、やる気を引き出す。
- ・ スタッフの1人として参加しながら、仲間と一緒にレベルアップを目指す。
- ・ 自ら考え、自ら行動し、かつ、お互いに進んで協力し合える地域人材の育成・連携強化を促進する。
- ・ 試行錯誤と改善の積み重ねを通じて磨かれる自己管理能力、課題発見能力、問題解決能力、コミュニケーション能力等は、将来、地域で活躍する様々な場面において役立つ。

2 申請に至るまでの経過

- 2015年～ 毎月1回、地域やまちづくりに関する対話を行う朝カフェ会を開催
- 2016年11月～ 月2回、寺子屋ひろば（小中学生の学習支援）を開催
- 2017年4月～2019年3月 池野駅駅舎 まちづくり工房「霞溪舎」を運営
- 2017年7月～ わかも会の活動開始（助成金を活用した「ときめぐり」の協働開発等）
- 2018年12月 特定非営利活動法人設立に向けて準備委員会を発足
- 2019年6月 設立総会を開催（同時に任意団体を設立）

令和元年6月22日

特定非営利活動法人まち・ひと・ことづくり工房ひなぞら
設立代表者
住所又は居所
岐阜県揖斐郡池田町宮地495-1
氏 名 小川 康伸 印